

前 石岡市議会議員

桜井しげる

- 昭和34年6月生まれ ● 石岡第一高等学校・東海大学文学部卒
- 日本信販(株)、石岡市職員(32年間勤務) ● 認定こども園府中幼稚園理事長
- ◆ 前 石岡市議会議員(3期：文教厚生委員長、総務企画委員長、ほか)



春風亭昇太師匠は東海大学で同じゼミ。ガンバレとの声援が届きました。

討議資料

市長は事業を止めたのは議会と発言していますが

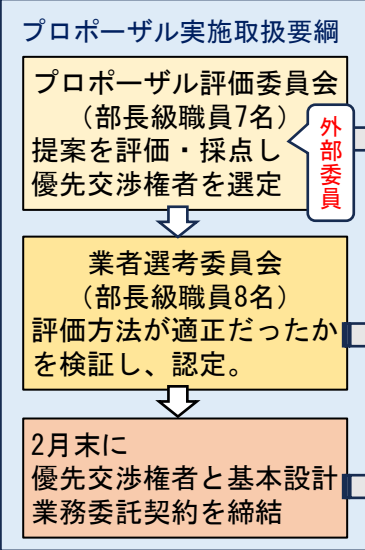
複合文化施設整備費用として、基本設計委託料1億1千万円とプロポーザル評価委員報酬60万円(専門的知識持つ外部委員)を予算化し、基本設計業者選定はプロポーザル方式を採用。要綱従い優先交渉権者を認定したことが委員会に報告されました。すると、下記に示した①から⑦の問題点が発覚。今後、100億円を超える施設整備が想定されますが、公平・公正な手続きで業者を決定していませんでした。



ホーム
ページ



フェイス
ブック



- ①世界的に有名な建築家も応募する中、専門知識が無い担当判断で「提案には技術的な懸念は無かった」として、外部委員を活用しなかった。
- ②評価委員会委員長は、要綱規定の委員長資格が無かった。
- ③委員長資格が要綱上無い事を部長級関係者全員が気づかなかった。
- ④委員長の資格無しを問われ「評価委員会は適切な委員会ではなかった」と総務部長(業者選考委員会委員長代理)が答弁。
- ⑤非公表の応募事業者名が、評価・採点前に市内に外部漏洩していた。

- ⑥業者選考委員8名中6名は評価委員を兼務。検証の公平性に疑問。
- ⑦業者選考委員会は、評価を検証する会議を開かず、持回り決裁(文書回覧)という安易な手法で優先交渉権者を認定。

臨時議会(1月30日)では、①～⑦の理由によりプロポーザル審査過程を検証すべきとして、2月末の基本設計業務委託の契約締結延期を求める決議が緊急動議で提出され、賛成18、反対2の賛成多数で可決されました。

産業建設委員会(3月6日)での市長発言(委員会会議録より)

今回、公募型プロポーザルを実施する中で、公正性を欠くのではないかと、議会の皆様に疑念を抱かせ、決議文という形で指摘を受けていることにつきましては、市長として極めて重く受け止めるとともに、皆様に疑念を抱かせてしまったことについて、大変申し訳なく感じてございます。

この指摘を真摯に受け止め、今回のプロポーザルで選定されました優先交渉権者との契約に向けた協議は、取りやめる方針といたしました。(中略)丁寧に説明をしながら、皆様が安心できる事業推進となるよう取り組んでまいります。その後、プロポーザル審査をゼロベースに戻す事が正式に発表されました。

市長は反省と謝罪を表明しゼロベースに戻している。なぜ議会が止めているになるのか?



産科医療施設の誘致について

| | |
|---------|---------------|
| 医療法人の名称 | 医療法人社団 桐杏会 |
| 設置場所 | イオン出店隣接地 |
| 診療規模 | 19床以下 |
| 診療科目 | 産科、産婦人科 |
| 開設時期 | 令和10年度中 |
| 用地の手当て | 市有地の無償貸与 |
| 開設支援 | 3億円(協議中) |
| 運営支援 | 1億円×10年間(協議中) |
| 3市の負担割合 | 協議中 |

石岡市では、平成29年12月以降、分娩できる医療機関はありません。今期定例会一般質問や予算審議でも石岡市が進める産科医療施設誘致の質疑がされ、執行部の取組状況が報告されています。妊婦とその家族にとって市外の医療機関への通院と出産は大きな負担となっています。市内への産科医療施設誘致活動がどこまで進んでいるのか現況報告いたします。

石岡市・かすみがうら市・小美玉市の3市による石岡地域医療計画を共同策定し、神奈川県藤沢市を本拠地として、神奈川県に13件、埼玉県に1件の医療機関を展開する医療法人との間に基本的事項に関する協定を結ぶ予定です。産科誘致の成功に向けて応援したいと思います。



★八軒向第3公園 屋外トイレ建設事業予算は全額削除

1：屋外トイレ5千万円に建設中止の陳情

八軒向第3公園内に屋外トイレを設置するための予算4千794万円について、10月27日付で約1千名の署名をもって、街区公園であり予算が高く・規模が大きい、近隣住民に説明が無いとして「建設中止を求める陳情」が議長に提出されました。

12月定例会における産業建設委員会審査では、担当から「国土交通省が発行している都市公園の移動円滑化整備ガイドラインに沿った設計」との説明を信じて、反対の陳情を「一部採択」とし、トイレ建設にGOサインを出しました。

2：市民への説明は虚偽説明か？

令和8年2月20日「市長とかたろう会」が開催され、その席で市長は以下のような発言をしていました。

トイレは議会が作れと言ってきた。本音の話、私自身トイレが5千万円もすると聞いて驚いた。議会が認めたものを止めるのは難しい。議会が強くてトイレを止めさせてくれない。地元の人しか来ないのでトイレは作れないと私自身は断っていた。等々（市長公室作成の業務報告書記載内容）

予算編成権そして執行権は、法令で市長だけに与えられた権利と責任であり、議会の影響力である議決権が及ぶのは1億5千万円以上の契約案件です。そのため「市長とかたろう会」という公の席での市長発言は「虚偽説明」であり、市民への裏切り行為と批判する市民も出ています。

3：屋外トイレ予算を全額削除

産業建設委員会（3月6日）を開催し「市長は作らなかつた」トイレについて、国交省のガイドラインを詳細に確認。すると、驚くことにガイドラインはバリアフリーを推進する指針であり、執行部が提案するトイレは、便器の数がガイドラインの倍以上ありました。一方、障がい者用駐車場整備は予定されておらず、トイレ入り口までの車いす用舗装も予定されていません。

「国土交通省ガイドラインに沿った設計、標準的なもの」とは全くの別物であったことが判明しました。

定例会最終日、私は5名の賛同者の署名をいただき、補正予算案に含まれていた屋外トイレ建設費4千794万円の繰越を全額減額する議案を議長に提出しました。

採決は、**全議員が賛成し屋外トイレ建設予算は全額削除**となりました。

（委員会会議録）



録画映像
23分過ぎから



屋外トイレの規模は奥行き3m×横7mで21㎡。これはイベント広場の屋外トイレとほぼ同等です。トイレ入り口に目隠しの衝立とトイレ背面と公園フェンスの幅をそれぞれ1m取ると、占有する面積は5m×7mに。なぜ、大きく高価なトイレを作ろうとしたのか。「良いものを作りたかった」→ unnecessary 予算⇒税金の無駄

冒頭に財政推計（10か年）の説明があり、財政調整基金を2年連続7億円ずつ取崩している。さらに令和7年度末の基金残高総額は98億円だが、今後の基金取崩しで、令和15年度にはマイナス30億円の見込みが説明され財政は危機的であることが判明しました。複合文化施設、保健センター、府中小学校、上林・上曾線、小学校の統合校舎等に加え、八郷地区の上水道も整備が必要です。果たして財政はもつのか。無駄な予算を無くし、真に必要な事業を進める事を求め、新年度予算は全て可決しました。



(1) 市長は行方不明？

委員会開始を前に「市長から議会批判の説明を受けよう」との声が高まり、市長の所在を確認しました。すると、登庁していない事が判明。「携帯電話の応答が無く、行方つかめない」との事。歴代市長は、新年度予算審議の重要性を理解し市長室で傍聴、総括審査に備えているのが常でした。1時間45分後、議員全員を前に「誤った理解をさせてしまうような発言をしたことを深くお詫びする」との謝罪を受けて、予算審議が開始されました。

(2) 財政推計では危機的

市長は「不信任の理由が分からない」と記者発表しています。今回は、経歴詐称、ラブホでの会議、パワハラのように人間性を問う事案ではありません。首長の資質として必要な判断力・指導力・行動力・議会との調整能力が欠如していると思える事案が多数重なり、市の損失を防ぐため不信任に賛成しました。

| 出席 | 退席 | 賛成 |
|----|----|-----|
| 21 | 0 | 16 |
| 20 | 1 | 15 |
| 19 | 2 | 15 |
| 18 | 3 | 14 |
| 17 | 4 | 13 |
| 16 | 5 | 12 |
| 15 | 6 | 12 |
| 14 | 7 | 11 |
| 13 | 8 | 不成立 |

(3) 不信任への賛成理由

(1) 不信任案の動議提出

予算及び条例改正等の議案を可決後、「谷島洋司市長に対する不信任決議」が山本議員から賛成者12名の署名をもって議長に提出されました。



録画映像1時間7分過ぎから

(2) 可決条件は

山本議員の提案理由に対して、反対討論1名、賛成討論4名が演台で熱弁を披露（録画映像参照）不信任可決には議員の3分の2以上の出席と出席議員の4分の3以上の賛成が必要になります。結果は賛成13、反対3、棄権5で可決。仮に反対者3名も退席し棄権8名なら不成立でした。

市長不信任決議可決